

会津坂下農業普及所だより

みどりのこだま 第194号



祝！「両沼女性ネット」福島県農業賞受賞



左から仙波さん、内堀知事、藤川さん、角田さん

令和7年9月9日、第66回福島県農業賞表彰式が福島市で開催され、「両沼女性ネット」が集団活動部門農村女性の部で受賞されました。

「両沼女性ネット」は、平成19年に設立されて以来、女性農業者ならではの感性や視点を生かし、地域や年齢、経営形態の枠にとらわれず、女性農業者の認知度向上や、地域農業の振興ならびに地域の活性化に貢献されたことが高く評価され、このたびの受賞となりました。

10月17日には、道の駅あいづ湯川・会津坂下の農家レストラン「くうべえる」において祝賀会が開催され、会員14名と会津農林事務所の遠藤所長をはじめ、会津坂下町の板橋副町長など、関係者10名が出席しました。



祝賀会には多くの会員が集まりました

「両沼女性ネット」の皆様、この度は誠におめでとうございます。今後も両沼地方の農業振興へのご活躍を期待しています。また、「両沼女性ネット」は会員を募集していますので、興味のある方は当所までご連絡ください。

祝！「若宮ばくさく」全国優良経営体表彰受賞

令和7年10月23日、農林水産省等が主催する全国優良経営体表彰において、「株式会社若宮ばくさく（会津坂下町）」が全国担い手育成総合対策支援協議会会長賞を受賞されました。

「株式会社若宮ばくさく」は、水稻やそば、農作業受託等に取り組み、会津地方でも有数の規模を誇る農地所有適格法人であるとともに、スマート農業の実践や、そばの製粉残渣を活用した特別栽培米の生産、さらには、粳穀たい肥のほ場還元等の環境にやさしい取り組みが高く評価されました。「株式会社若宮ばくさく」様、この度は誠におめでとうございます。今後益々のご活躍を期待しています。



遠藤所長、若宮ばくさく代表内海さん、鈴木さん

新規就農者等研修会を行いました！

例年、会津農林事務所農業振興普及部及び喜多方農業普及所と連携し、新規就農者やこれから就農を予定している方などを対象に、研修会を開催しています。

今年度は全4回開催され、当所では第2回（11月開催）の土づくり、第4回（12月開催）の農薬適正使用のテーマを担当しました。研修会では、共通事項についての講義の後、分野ごと（作物、野菜、花き、果樹）にグループを作り、専門性を高めた講義が行われました。参加者の方より質問が多くあり、活発な意見交換が行われました。

当所では、引き続き他機関と連携しながら、新規就農者の技術・経営能力向上に向けて支援していきます。



作物グループの意見交換

新鶴小学校で花育授業を行いました！

令和7年10月29日、会津美里町立新鶴小学校において花育活動としてフラワーアレンジメント教室を開催しました。この活動は県産花きの消費拡大に向けたPR活動の一環で、6年生の児童を対象に、会津若松市内の有限会社すみれ花店の指導により行われました。

児童らは、新鶴地区の宿根カスミソウと県内産の花材を用いて、思い思いの花を生けていました。フラワーアレンジメントは初めての体験という児童が多く、「とても楽しかった」「花に興味があった」などの感想が寄せられ、非常に良い体験ができたようです。



会津美里町立新鶴小学校6年生のみなさん

宿根カスミソウの品種比較を行いました！

当所では、地域を代表する「宿根カスミソウ」の品種比較展示ほを2カ所設置し、運営支援を行っています。

昭和村矢ノ原では9月咲き作型の品種比較を行い、8月及び9月に開催された現地検討会（昭和村花き振興協議会主催）には計41名の生産者が参加しました。

会津坂下町海老細では10月～11月咲き作型の品種比較を行い、10月に開催した現地検討会（当所主催）には生産者などが35名参加しました。

生産者は各品種の特性や開花状況を確認し、積極的な情報交換を行い、品種に関する理解促進につながりました。

当所では宿根カスミソウの更なる生産振興に向け、今後も支援を続けていきます。



昭和村矢ノ原での現地検討会

果樹における効果的なカラス対策の紹介！

令和7年9月～12月にかけて、会津美里町松岸集落のリンゴほ場に、「くぐれんテグスちゃん」の実証ほを設置し、カラス対策の効果を検証しました。実証ほでは、設置前まで果実被害が多発していたものの、設置後には被害が激減し、高い有効性が確認されました。

次年度は、設置費用（耐用年数5年で10aあたり約10万円）や、労力（10aあたり5人で6時間）の削減を図るための実証を行う予定です。「くぐれんテグスちゃん」に興味のある方は、当所までご相談ください。



「くぐれんテグスちゃん」実証ほ

昭和村で水稻有機栽培を実証しました！

会津地域の水稲有機栽培では、抑草効果の高い紙マルチ栽培が広く普及しています。本栽培方法は、黒い生分解性の紙製マルチングシートを田面に敷きながら苗を移植するものです。

今年度、昭和村小野川地区（標高約750m）の水田で、紙マルチ栽培の適応性を検証したところ、収量は365kg/10aと目標（360kg/10a）を上回り、食味も良好であったことから、本地域における適応性が確認されました。

次年度は、高標高地での紙マルチ栽培の安定性を検証し、水稻有機栽培技術の確立と品質の安定化を図ります。



紙マルチ田植え機による田植え作業

AIZUFARMERS実績検討会が開催されました！



小林会長のあいさつ



実績検討会では試験結果が報告されました

令和7年11月25日、ハイテクプラザ会津若松技術支援センターにおいて、令和6年11月に会津地域の農業者で創設された「A I Z U F A R M E R S」主催による課題解決のための現地試験成績検討会が開催されました。

当日は、60名を超える参加があり、今年度実施した新技術等の試験結果の報告がありました。参加者からは「とても参考になった」「次年度新技術を試してみたい」「今後も参加したい」など大好評でした。

当所としては、引き続き、農業者のスキルアップにつなげる良い機会とし、「A I Z U F A R M E R S」の活動を支援していきます。

— — — お知らせ — — —

みどり認定を受けましょう！

化学肥料・農薬の使用低減などに取り組む農業者の認定制度「みどり認定」がスタートしています。令和9年度には環境保全農業直接支払交付金の要件に「みどり認定」を受けることが追加される見込みです。他にも様々な補助事業での優遇措置や融資等の活用もできます。詳細は、当所までお問い合わせください。

収入保険に加入しましょう！

令和7年は、大雪による園芸用パイプハウスや果樹棚の被害、高温干ばつによる水稻の等級低下など、農業経営が厳しい年でした。農業所得の減少を補償するため、収入保険に加入しましょう。詳細は農業共済組合にお問い合わせください。

冬眠明けのクマに注意！

春は、冬眠から目覚めたクマがエサを求めて活動を始める時期です。人里に出没することもあるため、誘因物となる生ゴミ等の管理に注意し、クマを人里へ近づけないようにしましょう。また、クマの活動が活発になる朝夕は特に注意が必要です。複数人での行動やクマ鈴の着用等を徹底しましょう。なお、冬の間も冬眠しないクマが出没する可能性があるため、引き続き注意しましょう。



◆内容に関するお問い合わせ、農業に関する相談はこちらへ

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所

(住所) 河沼郡会津坂下町大字見明字南原881 (電話) 0242-83-2112

金山普及所

(住所) 大沼郡金山町大字川口字上町656-1 (電話) 0241-54-2801